



令和元年10月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## 伊豆分場新施設開所式



森竹治郎県議会議員から御祝辞

9月13日、県や漁業関係者等25人が参加し、伊豆分場新庁舎開所式が当场会議室で行われました。志村信明・県農林水産担当部長から、最新の設備を最大限に活用し、地元の漁業振興に今後も貢献していきたいとの挨拶がありました。来賓を代表して森竹治郎県議会議員、佐藤泰一伊豆漁協代表理事組合長から御祝辞をいただきました。今後の業務の成果に期待を託され、職員一同気持ちを引き締め、職務邁進の決意を新たにしました。午後開催した内覧会には、白浜地区の漁業者、近隣住民等が来場し、展示室、各実験室、屋外展示水槽等を見学していただきました。

## イセエビ漁解禁と漁況予測

9月16日からイセエビの刺網漁が解禁となりました。9月26日に南伊豆町の下流、27日に下田市の田牛で漁獲物の体長測定を行った結果、どちらも中銘柄が主体でした。

また、イセエビの刺網漁の解禁に先立ち、当场で令和元年9月～翌年5月までの漁期漁獲量を予測しました。その結果、下田市における漁期漁獲量は29.9tで前年並み、南伊豆町における漁期漁獲量は44.7tで前年をやや上回ると予測されます。イセエビ漁獲量は近年は高い水準で推移しているので、今漁期の豊漁が期待されます。



↑水揚げされたイセエビと体長測定の様子

解説：イセエビ：資源保護のため、5月15日～9月15日は禁漁となる。また、漁期中も漁業者自らが禁漁日と禁漁区を設け、混獲された仔エビを海に放流している。

## 県漁業高等学園の生徒が分場で研修

9月4日に県漁業高等学園(焼津市)の生徒25名が下田市を訪れ、伊豆漁協でキンメダイ底立はえ縄漁業について、伊豆分場で伊豆地域の漁業や水技研の業務について研修を受けました。分場では新施設やイセエビの幼生採集の見学も行い、普段は触れることが少ない伊豆の生物に興味深い様子でした。今後の漁業後継者としての成長に大いに期待します。



↑イセエビの幼生採集調査を見学する生徒

解説：静岡県立漁業高等学園は漁船員、漁師を養成する1年制の職業訓練校です。定員30名の少人数教育が受けられ漁業に必要な資格と技術が得られます。

**10月の予定** ●県東部漁業士と県行政との意見交換会が11日に東伊豆町で行われます。 ●下田市白浜で漁業者と協力しながらテングサ漁場の雑藻刈りを行います。 ●フェリーを利用した西伊豆産水産物の静清地区への試験流通を実施します。 ●県調査船駿河丸によるキンメダイを食害するサメの捕獲調査が28～29日に行われます。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu